

安城市の環境についてのアンケート結果のまとめ

1 回答者の属性

- ・回答者の 7 割が戸建ての持ち家
- ・自動車の保有台数は、7 割の世帯が 2 台以上保有
- ・在住期間が 20 年以上の回答者が 7 割

2 エネルギー

- ・自動車や家電の購入時のポイントは、7 割の人が費用面をあげている
- ・電気の調達先を自分で選択できる場合の重視する点は、半数が料金、4 割が供給の安定性をあげている
- ・環境に良いという利点だけでは、コストをかけてまで行動に移す人は少ない
- ・再生可能エネルギー発電事業は、積極的な参加の意思がある人と、賛成だが何もしない人、消極的思考の人が同数程度
- ・再生可能エネルギーに対する知識のある人は 4 割弱

3 交通

- ・市内の移動は 8 割が自動車
- ・公共交通が便利と感じる人が 5 割、不便と感じる人も 5 割
- ・自動車移動時に便利と感じる人が半数以上
- ・交通手段の選択は「身体的な負担が少ないこと」を重視する人が半数以上

4 環境教育・啓発

- ・イベントの参加率、認知度は低い結果
- ・環境問題に対する情報源としては、テレビ・ラジオ、新聞・本・雑誌に次いで、市の広報等があげられた

5 自然環境

- ・油ヶ淵はほとんどの市民に認知されている
- ・根羽村は全く知らないという人が全体の 3 分の 1
- ・水環境のことを踏まえて、継続的な啓発が必要

6 生活環境

- ・他のまちと比べて安城の優れている点、劣っている点を際し引きした結果、プラスが大きい点が安城の強みであり、マイナスになった点・プラスが少ない点が安城の弱みであると考えられる
- ・「自然災害に対するリスク」「日当たりの良さ」については、安城市の恵まれた地理的条件が現れている
- ・他に強みとしては、「まちの景観」「公園などの憩いの場」があげられる
- ・上記の2つは、現行環境基本計画でも、項目として掲げられている部分であり、この強みを継続できるようにしていくことが必要
- ・弱みに関しては、「ポイ捨てなどの環境マナー」が突出している
- ・「生きものの多様さ」は、安城市内に野生生物が少ないというわけではなく、存在が知られていないのではないかと考えられる

7 地球温暖化

- ・8割超の人が影響を実感
- ・地球温暖化（気候変動）は、より身近な問題に
- ・7割の人は行動に移したい、行動していると回答